

コミュニティバスの
導入に向けた検討が
本格始動

Shioya
Machizukuri
NEWSLETTER

塩屋まちづくり
の
2014
Spring
No. 22

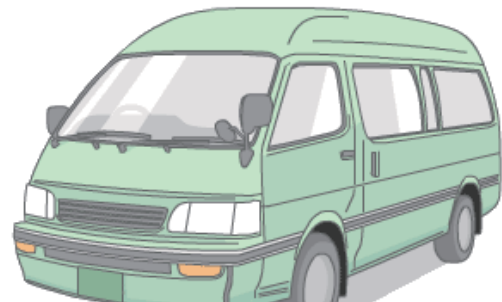
塩屋まちづくり推進会 編集/発行

会長：原田幸男（078-752-9526）
問合せ：shioya_machizukuri@yahoo.co.jp

あなたの参加がこの街を変える。

「塩屋コミュニティバスを走らせる会」発足 今秋に社会実験（試走）を予定

このたび、塩屋まちづくり推進会、塩屋地区連絡協議会、塩屋ふれあいのまちづくり協議会、塩屋北ふれあいのまちづくり協議会は、垂水区役所の支援のもと、「塩屋コミュニティバスを走らせる会」を組織し、だれもが安心して日常生活を送ることができるまちをめざして、公共的な交通手段の確保を検討していくこととなりました。今秋には、9～10人乗りのジャンボタクシー規模のコミュニティバスを用いた社会実験（試走）を行う予定です。



ジャンボタクシーのイメージ

アンケートにご協力をお願いします

試走にあたり、「どのような人が、いつ、どこへ」移動するためのバスが求められているのかを把握するため、アンケートを企画しています（4月中に配布予定）。アンケートの回収率自体が、コミュニティバスに対する地域の関心を示すものと考えられます。既存の路線バスを維持する前提のもと、協力バス事業者（未定）を見つけるためにも、多くの方からの回収を得たいと思っていますので、ぜひともご協力をよろしくお願い申し上げます。

＜社会実験の前提条件＞

- 路線バス運行の認可は下りるものとして実施する
- ルート・乗降場所は固定（塩屋小・塩屋北小の区域を循環、詳細未定）
- 均一料金（割引等は想定しない）（「タクシーよりは安価」程度）
- 車両サイズは9～10人乗り程度（ジャンボタクシー規模）